



【発行】市民フォーラム  
〒183-8703 東京都府中市宮西町2-2-4

### 平成29年度一般会計予算は1046億円です。

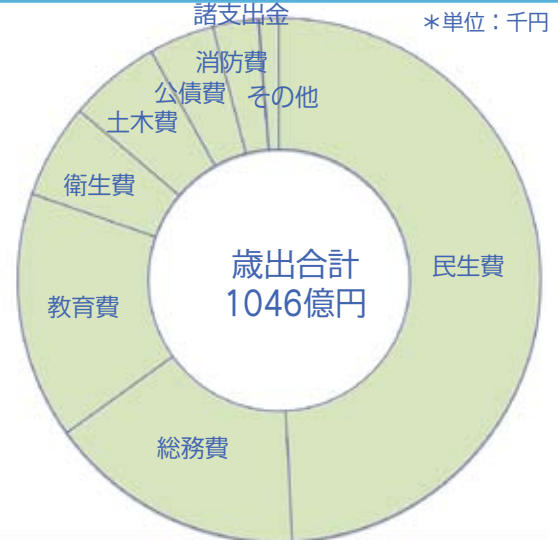
2月20日～3月16日の25日間の府中市議会第1回定例会(3月議会)が行われました。3月議会では、その年度の予算が審議されます。私たちの支払った税金がどの様に使われるのかを審議する大切な定例会です。市民フォーラムは今予算案に賛成を致しました。

#### ● 予算特別委員会



歳入合計	¥104,600,000
市税	¥49,175,544
国庫支出金	¥17,243,687
都支出金	¥10,338,135
地方消費税交付金	¥5,305,959
使用料および手数料	¥4,012,458
繰越金	¥1,300,000
諸収入	¥1,012,936
繰入金	¥5,223,862
市債	¥8,066,500
その他	¥2,920,919

歳出合計	¥104,600,000
民生費	¥51,467,672
総務費	¥16,609,935
教育費	¥15,957,747
衛生費	¥6,111,052
土木費	¥5,945,548
公債費	¥4,238,301
消防費	¥2,925,732
諸支出金	¥42,000
その他	¥1,302,013



平成29年度一般会計予算は過去最大の1,046億円となりました。今年度は7月に府中駅前南口再開発事業の完成・グランドオープンを迎え、9月から新給食センターの利用開始などを迎

える年でありました。また、新規事業として、「重症心身障害者(児)在宅レスパイト事業」や「骨髄ドナー登録推進事業」など福祉関連にも力を入れる予算となりました。

#### 須山たかしの主な質疑

##### 子どもの貧困に関して

- Q.東京都が行った「子どもの生活実態調査」の評価は？  
A.東京都が昨年、首都大学東京と連携し小中高校生・わかものについて調査したことで、今後の各自治体が実施する同様の調査の目安になったと評価している。今後は同調査の最終報告や他自治体の実施動向を注視しつつ、実態調査の実施について検討していく。
- Q.組織改編で「子ども政策担当」が出来ると聞いているが、これはどういったものか？また、子どもの貧困に関してはどの様に関わっていくか？  
A.平成29年度に設置する「こども政策担当」は、特定教育・保育施設等に対する指導検査並びに、妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援、子どもの貧困対策等の諸課題に対し、関係課と連携し、組織横断的に取り組んでいくもの。

##### ICT（情報技術）の活用に関して

- Q.オープンデータの活用に関して、今後の展開は？  
A.1月に「府中市オープンデータの推進に関する指針」に基づき、各種データの公開を開始した。今後の展開としては、先進自治体の動向を注視しながら、市民の方がより利用・活用しやすいよう、公開データの拡充や精査に努めていきたい。
- Q.Code for Fuchuなどの動きが出てきているが、市の評価は？  
A.Code for Fuchuは、ICTを活用し、地域の課題を解決し、市民生活の向上を図ることを目的に設立された市民団体であり本市が公開したオープンデータの活用方法をワークショップ形式で議論する「アイデアソン」が開催された。幅広い方が参加されており、イベントの内容も決して堅苦しくなく、参加者全員が楽しめるように工夫されており、参加者からは、活発で前向きな発言が多く、活力や可能性を感じられる集まりであった。今後も必要な支援をしていきたい。

##### たかしの目

未来を担う子どもたちが健やかに育つためにも、妊娠・出産から子育て期の親への支援体制の強化は行政の課題である。特に子どもの貧困対策は喫緊の課題であり、以前から要望もしてきた「解決を図るための中心となる担当」として「子ども政策担当」の設置を非常に評価する。



##### たかしの目

ICTの進化は私たちの生活を更に便利にする可能性がある。ICTを使い、コミュニティを深めていくCode for Fuchu等の活動を後援するなど府中市が評価していることに期待する。



平成4年に日本で「骨髄バンク事業」が開始されてから、累計688,881人の方がドナー登録をし、移植実績は20,237例にも上る。

一方で平成28年では96.4%の患者さんに移植可能なヒト白血球抗原（HLA）適合者がいたが、マッチングできず移植率は54.4%という結果に。その一つの理由として、骨髄採取には通常3～4日

の入院が必要となり、その間骨髄提供者は日常生活や経済活動がストップしてしまうことになることが大きなハードルになると言われている。

Q. 骨髄移植の推進についての府中市の見解は。

A. 白血病などの血液疾患を発症された方への有効な治療法である骨髄移植の普及を図るための骨髄バンクが日本に創設されて以来、骨髄はもちろん、末梢血幹細胞を合わせると、移植件数は2万件を超えており、これによって多くの方々の命が救われるとともに、社会復帰を果たされる方も確実に増加をしてくれている。

一方で、骨髄ドナーが骨髄等を提供する場合、事前の健康診断や骨髄・末梢血幹細胞の採取のために、数日間の入院が必要となることから、このような生活面や経済面における負担をいかに軽減できるかが、ドナー登録者数をふやし、骨髄バンク事業を推進する上での課題になっているものと認識をしている。

このため、本市としても、引き続き厚生労働省等の関係機関と連携・協力しながら、骨髄バンクの普及啓発を行うとともに、ドナー登録の促進に向け、骨髄提供者の負担の軽減に取り組んでいく。

たかしの眼

2015年度の新規ドナー登録者数は、全国が2万8,690人に対して、東京都は2,987人で全国一位ではあるが、対象人口のドナー登録割合に関しては、全国平均が8.10%なのに対して、7.63%で23位。さらに20代の若年層の登録比率は、全国平均が15.3%、東京都は10.3%で35位であるとの結果が出ている。



登録者は18歳から54歳までという年齢制限が設けられているために、毎年自然に登録解除される方が一定数いる中で、若い方の登録を増やしていくことが喫緊の課題である。

Q. 府中市の平成29年度予算でも骨髄移植ドナー支援事業が新規事業として計上されている。本事業を始めるに当たり、普及啓発活動が必要だと考えるが、こういった取り組みをするか。特に若年層へのアプローチや、さまざまな団体との連携が必要であると考えるが、どのように進めていくか。

A. 骨髄ドナー支援事業は、骨髄移植のドナーとなった方に対し一定の助成を行うことにより、生活面や経済面の負担を軽減し、これにより骨髄ドナー登録の推進を図ることを目的として実施するもの。普及啓発の取り組みに関しては、市内で行う福祉まつりや商工まつり、また、成人式などのイベントを有効に活用するほか、市内関係団体と連携して、商工会議所ニュースなどに事業の開始に関するお知らせを掲載させていただくことなどを検討している。また、東京都や広域的に活動する関係団体との協働として、骨髄バンク推進月間に合わせた普及啓発や、骨髄バンクを支援する東京の会に御協力をいただくなど、市内・外を含めた広域的な普及啓発活動を進めていくことを検討している。

たかしの目

市内には常設のドナー登録窓口はないが、献血バス等で市内でも登録ができるということでした。

大國魂神社等で市内団体の皆さんが献血活動を行っており、そういった方々にもご協力を頂き、PR並びに骨髄ドナー支援事業の説明をして頂くように要望しました。

\*その後、各団体の皆さんにご協力頂ける内諾を得たとの報告を受けました。支援の輪が広がります！



平成29年第2回府中市議会定例会(6月議会)は

6月12日(月)開会予定です。

是非傍聴に要らして下さい!

また、府中市議会では本会議のインターネット配信を行っております。下記URLからアクセスして下さい!

府中市議会HP <http://www.fuchu-city.stream.jfit.co.jp/>

須山たかしプロフィール

1980(昭和55)年11月6日生まれ(36歳)。府中市晴見町育ち・在住。明星幼稚園、桐朋小・中・高校、早稲田大学社会科学部卒業。早稲田大学大隈塾においてジャーナリスト高野孟に師事(1期生)。大学卒業後、民間特許事務所に3年半勤務。その後、政党本部スタッフ、参議院議員公設秘書など国政に従事。蓮舫(れんぼう)参議院議員の秘書を経て、2011年府中市議会議員に初当選。2015年2期目再選。

現在、基地等跡地対策特別委員会委員長 建設環境委員会委員 農業委員会委員 都市計画審議会委員 議会改革検討委員会委員 議会運営委員会委員 市民フォーラム所属

地域での主な活動

- ・公益社団法人むさし府中青年会議所会員・武蔵野府中ボーイズ名誉顧問
- ・けやき音楽祭2013JAZZinFUCHU実行委員長

TEL & FAX 042-307-8309 mail [suyama1980@gmail.com](mailto:suyama1980@gmail.com)

HP <http://suyamatakehi.jp/>

ご意見  
お待ちしております!



「府中市議会議員 須山たかし」で検索

